

再生歯科治療学分野セミナー  
Regenerative Dental Medicine Seminar

# 保存的アプローチからの歯科審美治療

## - Good balance of "MI" and "ESTHETIC"

Conservative approach for esthetic dental treatment  
( Good balance of "MI" and "ESTHETIC" )

田代 浩史 先生

Dr. Hirofumi TASHIRO

田代歯科医院 院長

徳島大学歯学部 非常勤講師

東京医科歯科大学 臨床教授

Director, Tashiro Dental Clinic

Adjunct Lecturer, Faculty of Dentistry, Tokushima University

Clinical Professor, Tokyo Medical Dental University

日 時: **December 20** (Wed) 17:30-18:30

場 所: **歯学部 講堂** (Faculty of Dentistry, Auditorium)

患者との治療方針決定のためのディスカッションにおいて、患者が希望する治療方法に関する優先事項とし「健全歯質の温存」が大きく意識される時代となっている。また高齢者も含めて多くの患者の口腔内には健全歯が多数残存し、大規模な治療介入を必要としない口腔内環境を持つ患者の割合は年々増加傾向にある。このような時代の治療方法として、我々歯科医師が最も強力なオプションとして認識しているのは、歯質への高い接着力を獲得して歯冠形態の修復手段として広く活用されるようになった「コンポジットレジン直接修復」であると考えている。また一方で患者は、歯科治療に対して「審美性」の維持または獲得を、必須事項として求める状況ともなっている。こうした患者の要望に対しても十分に対応可能な修復材料として、天然歯牙への高い色調適合性や研磨性、一定の耐摩耗性等を獲得したコンポジットレジンの存在意義は大きい。本講演では、歯質と直接に一体化可能な接着修復材料として、健全歯牙温存と審美性改善とを両立して短期間での修復治療が可能なコンポジットレジン修復の新しい適応範囲を提案する。保険診療では賄えない臨床状況に対して自費診療としてのコンポジットレジン修復を患者に提供し、この治療方針を有効に活用するための医院の体制作りについても解説したい。同時に精度の高い接着修復実践のために必要な修復手順の学術的根拠を示し、材料選択の基準を整理する。

※ 本セミナーは大学院口腔科学研究科の大学院特別講義を兼ねております

This seminar is a graduate special lecture at the Graduate School of Oral Sciences.

連絡先：再生歯科治療学分野 保坂 啓一・中西 正

Contact: Regenerative Dental Medicine

Keiichi HOSAKA, Tadashi NAKANISHI

主催：徳島大学研究クラスター

「接着歯学&光工学との最先端融合による<Super Tooth>創生  
～次世代の低侵襲接着再生歯科治療への展開～」